理事長　山地　清

ごあいさつ

皆さまには日頃より「富山信用金庫」をご愛顧いただきまして、まことにありがとうございます。この誌面をお借りいたしまして衷心より厚くお礼申し上げます。

本年も、より一層「富山信用金庫」をご理解いただくため「とみしん REPORT 2021」を作成いたしました。この小冊子には、当金庫の基本方針はもとより、この一年間の業績や経営の現況を取りまとめてございます。ぜひご高覧いただき、身近な金融機関として「富山信用金庫」をご利用いただければ幸いと存じます。

当金庫は、1902（明治35）年4月7日「富山売薬信用組合」として誕生以来、地域との共存共栄の創業精神を基本理念に、地域の繁栄と中小企業の発展のため努力を重ね、創業119年もの長い歴史を築くことができました。これもひとえに永年にわたる地域の皆さま方のご支援、ご協力の賜物と深く感謝申し上げる次第でございます。

迎えます2021年度は、ワクチンの普及期待や各国の大規模な財政政策により国内・海外経済は回復局面にあるものの、新型コロナウイルスの再拡大の懸念もあり、先行きの不透明感が増しております。また長引く経済活動の抑制や雇用環境の悪化により非製造業を中心に厳しい状況が続くことが予想されます。一方我々金融業界においては、事業者への資金繰り支援をはじめ、経営改善・事業再生支援等の取り組みが期待されるとともに、SDGs・ESGへの取り組みやデジタル技術の活用、マネロン対応の強化等を推進することが求められております。

当金庫はこれからも地域から愛され続け、お客さまの利便性、満足度の向上を図るため役職員一同一丸となって努力し、更なる金融サービスの充実を図り、協同組織の地域金融機関としての社会的使命を達成してまいる所存であります。

最後に、今後も格別のご厚情とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

2021年7月

理事長　山地　清